

「みんながたからもの」



筑紫女学園大学 同窓会
紫友会 会長
石川 昭子

会員の皆様、日頃より紫友会活動にご理解ご協力あり
がとうございます。

お陰様にて、二〇一九年度後期は二名の方に紫友会奨学金を給付する事が出来ました。又、昨年三月に完成した筑紫女学園大学附属幼稚園舎の落成御祝として、アップライトピアノを贈呈致しました。八月には、園舎お披露目の会のご案内を頂き、紫友会役員会で参加致しました。新園舎にあわせ作られた園歌も聴かせて頂きました。「みんながたからもの」という歌で、松井五郎さんの作詞です。松井さんが実際に「響流の森」を歩かれて、そこを走りまわる園児をイメージして作詞されたとの事。幼稚園の隣接地に何十年も育まれて来た緑豊かな森を「響流の森」と呼んでいます。聴いて、森から吹いて来る風を感じ、歌って元氣が出ます！

「みんながみんながたからもの」
沢山の意味が込められたとても良い詞と思います。「いろんな大好き集めよう」「いろんな大好き」にある「幼稚園児 中学生 高校生 大学生、そして保護者の皆様、職員の方々、同窓会「精華会」「紫友会」につながる全てのご縁が、筑紫女学園の「大好き」であり「たからもの」。

新型コロナウイルス感染症の話題が尽きず、地球規模の大きな問題となっています。「みんながみんながたからもの」一人一人が出来る対策が自分だけでなく皆のため、すなわち感染拡大を防ぐ手だてになります。「みんながみんな」を思いやる行動を取って行ければと思います。

今年を待ちに待った東京オリンピックの年です。「みんながみんながたからもの」この詞があらゆる世界に響き渡り、世紀の祭典が無事に開催される事を心より念じます。

題字 本学園元顧問
故 干潟 龍祥先生書



筑紫女学園大学
同窓会
紫友会事務局
〒818-0192
太宰府市石坂2丁目12-1
筑紫女学園大学内
飛翔会館2F
TEL&FAX (092-929-4603)
〔月～金 10:00～16:00〕
印刷(有)森田印刷所

同窓会との連携強化へ向けて



筑紫女学園大学
学長
中川 正法

平素より紫友会役員ならびに会員の皆様には、母校の教育研究活動に対し、ご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年三月に「筑紫女学園大学改革基本計画」を策定し、社会から一層の評価を受け魅力ある大学の創造に向け、教職員さらには学生の皆さんとともに歩み続けております。

メディアでも紹介されましたが、四月には九州の女子大学としては初めて「ダイバーシティ推進宣言」を学内外に公表いたしました。文化的・身体的・性的多様性を認め合うことができるキャンパスを目指して様々なことに取り組んでいる所です。

はつきりとした目的がないまま入学し、卒業後はどんな分野に進みたいのか目標を見つけることができないうまま毎日を通している学生が少なくありません。

そのような学生たちにととの「ロールモデル」として、本学卒業生の皆さまが、社会に出てどのような経験を積み、現在どういった分野において活躍されているか、直接母校の学生たちに語っていただく場を設けたいと考えております。大学と同窓会との連携強化の一環として、ご協力の程何卒よろしくお願い致します。

第53回紫友会総会御案内

日時 / **6月6日(土)** 11:00~15:00【受付開始時間10:30~】 出席予定の先生方 (敬称略) 2月末現在の出席予定

場所 / **筑紫女学園大学**
太宰府市石坂2-12-1
3Fスクワーヴァティーホール

第53回紫友会総会は中止となりました。

川 正法
方 隆文
島 薫子
村 慎一

会費 / 3,000円 新卒会員

速水 良晃 栗山 俊之

第一部 / **総会** 11:00~11:30
会計報告・事業報告・その他

城戸 親男 魯 相學
小川 直樹 永淵 道彦 田村 史子

第二部 / **演奏会** 11:45~12:45

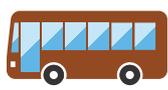
ジャワのガムランのコンサート
演奏：筑紫女学園大学ガムラン・グループ「プラティウィ」&ガムラン部
インドネシアのジャワのガムランは、東南アジアの文化を代表する音楽の一つです。青銅製のゴングや鍵盤楽器、太鼓、などを中心に編成された大合奏音楽の、豊かな響きが特徴です。本学では、アジア文化学科開設(1999年)以来、体験的な文化理解を目指して、ガムランの実習を授業カリキュラムに取り入れ、また、本学や九州国立博物館でワークショップを開催し、一般の方々への紹介を行って来ました。「プラティウィ」は、その活動を通じて集まった人々たちによって結成され、本学のガムラン部の学生・卒業生たちとともに、本学の入学式での歓迎演奏、対外的な演奏活動、などを行っています。



入学式での歓迎演奏 (2017)

第三部 / **懇親会パーティー** 会食13:10~15:00

- *今回当番幹事は短大33回生、大学文学部8、28、29回生、大学人間科学部5、6回生、大学現代社会学部1、2回生、大学院11、12回生です。
- *お車で越しの方は、学内に駐車できます。
- *当日は学内見学が可能です。(10時~16時)
- ***西鉄電車ご利用の方は、西鉄太宰府駅よりスクールバスを運行しますので、ご利用ください。(10時~16時ピストン運行)**



●締切日(5/15)以降の申し込みおよび変更は紫友会迄
(TEL&FAX092-929-4603)
会場の都合がありますので、事前のお申込をお願い致します。出席申込を頂いた方で当日連絡なく欠席の場合は、恐れ入りますが後日紫友会宛に会費をお振込みください。

■振込先
金融機関：ゆうちょ銀行 預金種目：当座預金
店 名：一七九(イチナナキユウ) 口座番号：0044769
店 番：179 口座名義：筑紫女学園大学同窓会紫友会

※諸般の事情により、変更が生じた場合は、出席予定の方々には事務局から連絡を致します。



こんにちは

今につながるもの。そしてこれから

神社、仏閣、博物館に足をほこれば

文学部・日本語・日本文学科 准教授 須藤 圭 先生



二〇一九年十月、『源氏物語』定家本「若紫巻」発見の大ニュースが飛び込んできました。朝夕のニュースで報道され新聞にも掲載されたことから、ご存知のかたも多いと思います。

ところで、この定家本「若紫巻」は、紫式部が著した『源氏物語』を、十三世紀に活躍した藤原定家が書き写した本です。つまり、

今から約八〇〇年以上前に書き写された本ということになり、あまたの戦乱や自然災害を乗り越え、奇跡のように伝えられたものということが出来ます。

神社、仏閣、また、博物館に足をほこれば、さらに古く、百年、千年、あるいはそれ以上の昔から、大切に受け継がれてきた数多くのものを見つかることも出来ます。

学生たちとともに、本学のすぐとなりにある九州国立博物館や太宰府天満宮で、それらにふれる機会も多くあります。その貴重な文物を、これから先の未来にどのような受け継いでいくか。未来のあるべき姿も見据えながら、日々、考えています。

私の恩返し

文学部・英語学科 教授 アタチ 徹子 先生



昨年の四月に着任いたしました。どうかよろしくお願ひいたします。文学部英語学科で、英語の教職科目などを担当しています。慣れないことばかりですが、明るく元気な学生や優しい同僚に囲まれて、楽しく過ごしています。

昨年の三月まで三十二年間勤務した宮崎大学では、学部・大学院での教員養成や、小中高の先生

憧れを

情熱へ変える大切さ

文学部・アジア文化学科 講師 羅 義圭 先生



大学時代の夢はとにかく、留学することが大きな目標でした。当初は、具体的な志があつて決めたくわけではなく、当たり前のような環境で生活することについて、面白さを感じられなくなったことが大きかったです。

憧れていた留学の夢を叶えて、現在日本に来て十七年が経ちました。その歳月の中には、喜び、悲しみ

との授業研究や勉強会、教員研修などを行っていました。「教員養成の場と教育実践の場をつなぐ」が自分の役割だと認識していました。私の知識や経験は、ほとんどすべてが先生たちに教えてもらったことであり、学生たちから気づかされたことです。この素晴らしいつながりの輪から去ることはとても勇気がいりましたが、こちらに来て本当に良かったです。これまで出会った人たちから学んだことを、筑女の学生に伝えたいと思っています。それが私を温かく宮崎から送り出してくれましたこと（十八回の送別会とともに）への恩返しだと感じています。

今につながるもの。そしてこれから

人間学部・人間科学科 心連 社会福祉専攻 准教授 森田 理香 先生



私は小さい頃から物語を読むのが大好きでした。物語の主人公に感情移入して「喜一憂したり、物語に登場する色々な登場人物に思いを馳せ、ほんやりと空想したりすることを楽しんでいました。思えばこの頃から人の生き方に関心を持っていたように思います。私はいま、臨床心理士公認心理師として多くの方と出会

「女子大学はあるのに、なぜ男子大学はないのですか？」

人間学部・人間科学科 初等教育 保育専攻 教授 松本 和寿 先生



教育史の授業を担当して長くなりますが、こうした問いを学生の皆さんから受けたことはまだありません。無理もないと思います。学生の皆さんには、すでにある学校種の由来を知ったところで何が得られるわけでもなく、今ある制度の中でどう生きるかを考えた方が「有益」と思えるでしょう。しかし、「見「無益」と思える行為により、有益な見方、考え方が得られることもあるはずですが。

い、その人生に関わらせて頂いています。出会った方々から語られるそれぞれのライフストーリーやその物語は楽しいものばかりではなく、その方の課題や葛藤がテーマであることが多くあります。それらを共有し、その方々の生き方やあり方が変わってゆく過程を共にする経験をさせてもらう中で、人の心の強さや豊かさ、柔軟さに驚くことや感動することも数多くあります。これからも、多くの方々の物語に出会う中で、私自身も学ばせていただき、自己研鑽してゆきたいと考えています。

一八七二(明治五)年の「学制」により日本に大学が登場します。ただし進学できるのは男性だけでした。これが一九四七(昭和二十二年)の学校教育法施行まで続きます。元来日本の大学は男性のための学校であり、わざわざ男子大学と名付ける必要がなかったのです。そうした中一九五五(大正四)年、東北帝国大学に三名の女子学生が特別に入学を許可されました。日本の女子大学生のパイオニアです。今から一〇〇年ほど前の話です。

学生の皆さんがこの話を知りどのような思いをもつか聞いてみたいところで。歴史を過去の出来事としてではなく、今につながるものとして捉えることは、自分のこれからを考えることと同義かもしれません。

雑誌制作四十二年、今につながるもの。そしてこれから
現代社会学部・現代社会学科 教授 小山 昌宏 先生



七歳でマンガを描きはじめた私は、十五歳で「コミ」を知り、以後四十三年間にわたり雑誌を作り続けています。大学時代はキャンパス誌に評論マンガを寄稿し、また憧れていた総合文化史「新時代」に参加する経験を得ました。卒業後は出版社を立ちあげ、サブカルポップマガジン「まぐま」を

研究の原点

大学院・人間科学研究科 一回生(二〇〇九年修了) 藤村 颯子



平成十九年に筑紫女学園大学に新設された大学院への進学を、私に強く勧めたのは、今は亡き父だった。寺族でありながら、寺とは無関係の道に進んでいた私に対して、父は、宗門校での学び直しを期待していたため、同院の開設は絶好の機会だった。

当時、学がごとくに無関心だった私は、何をどう研究すればよいのかもわからず、ぎりぎりまで進学をためらっていたが、「難しく考えずに、た

創刊、その七年後には縁あって流通誌として版元についていただけるまでに成長することができました。

こうした活動を通して多くの

人々と出会い、この雑誌から様々なライター、評論家、研究者が巣立ってゆきました。今となつては雑誌に関わりをいただいた人々との語り、切磋琢磨、共感と別離、すべてが宝物のように思えます。

そして今は、ただ離別した人々が、いつでも戻って来られるような港があればいい、たとえ遠くまで来られなくとも、その灯明はまだ時代を照らし続けているよ、そんな気持ちで制作をおこなっています。

だ高石史人先生のお話を聞いていれば大丈夫だから」と説得され不安を抱えたまま進学することに。入学後は学際的な環境の中でいつの間にか不安は消え、充実した学生生活を送ることができた。

現在の研究生生活の原点には、指導教授の高石先生をはじめ、授業でお世話になった先生方からご教示いただいたことや、異なる年代の院生方から学ばせていただいたこととがある。研究生生活は苦しいことばかりだが、筑紫女学園での学びが私を支えてくれている。学園と私を繋いでくれた父にも今では感謝している。

元号が変わり、新しい時代に突入したが、原点を忘れず、着実に歩を進めていきたい。

「ご恩のバトンをつなぐ」

文学部・日本語・日本文学科 十回生(二〇二〇年卒) 眞鍋 朋美



大学在学中に出会った「生きて生かされて」の言葉を胸に卒業し、昨今いよいよ不惑を迎えた。社会との関わりは層深くなり、人生のステージもまた二段上がった気がする。長く険しい人生の道のりは、それだけで困難が多く、パランスを取りづらいうもだ。いまの自分は、卒業した若き頃に予想した未来の姿ではないけれど、こ

和敬静寂の精神をいつまでも

短期大学・国文科 十三回生(一九七九年卒) 榎子 飛丞



茶道との出会いは、筑紫女学園に入学してからです。心優しい先輩方と部活動を通して、校内茶会と学園祭茶会の開催、点前の習得は楽しいものでした。茶花と炭以外は学生が中心となり、設営から茶券発行、点前、給仕、後見役、水屋の準備をしました。この時に、女子校の利点といえる伸びやかな自発性と自立心は培われていきます。顧問の進先生と飯

れまでの大事な局面を振り返るとき、み仏のお導きと、その時々で出会う方々のお力添え、乗り越えることができていたことに気が付く。

与えられた現世を精一杯生き、

ご恩によつて生かされてきた奇跡を思うと、全てが有難く尊く感じられてならない。周りのものや人から、今も変わらず戴いているたくさんのご恩を、自分なりの方法でしっかりと繋いでいくこと。おかげさまで「バトン」を丁寧に渡していくことが、この先自らに負う役目ではなからうかと、今しみじみと考えている。

尾先生から点前指導を隔週で受けながら、茶道の本を読んできました。そこには、所作手順に集中しがちですが、やはり精神性、心のあり方の大切さが書かれています。

和敬は主客相互の心のあり方、静寂は茶道具、茶室、茶庭に対する心のあり方。和敬静寂は筑紫女学園のモットーです。還暦を迎えた私は静寂な心のあり方を大切にしたいと考えます。「徒然草」花はさかりに月は限なきをのみ見るものは(桜は満開を月を澄み渡つた月を見るものだろうか)。万物に必然な陰りもよしとする茶の心を保ちたいもので

今につながるもの。そしてこれから

短期大学・英文科 一回生(一九六八年卒) 河合 さわ子(吉村)



先月の初めに八年ぶりに帰福しました。両親が亡くなつてから帰るきっかけがなかったのですが、いつも福岡の話しを聞く度に、なつかしさが込み上げてきていました。

実家があつたところもすっかり変わりましたが、九十四才になる母の妹がまだ元気で、昔話に花が咲きました。太宰府にも行きま

したが、色々な思い出が込み上げてきて胸杯でお参りました。私がいまは空港から地下鉄でどこでも行くことができ、食べ物はおいしく住みやすく、人気があるのも当然ですね。学生時代の先生や友達と会って博多弁を楽しみました。

私の短大時代から大学へと大きく発展して素晴らしく誇りに思うと同時に、筑女の名前は忘れることができません。

思い残すことなく楽しんでくるようにと二人旅させてくれました夫に感謝して、これからの人生を充実させて生きていくつもりです。

学部・学科一覧

- 文学部 日本語・日本文学、英語学科、アジア文化学科
- 人間科学部 人間科学科 発達臨床心理コース、社会福祉コース、初等教育コース、幼児保育コース
- 現代社会学部 現代社会学科



最新情報はホームページで! *随時更新していますので、ご確認ください。 *大学案内など必要な資料がございましたら、無料でお届けいたします。

入試・広報に関するお問い合わせ先 入試・広報班 TEL(092)925-3591

卒業生の声を聞かせてください

学生時代を振り返って、もっと何かを学びたかったと思いませんか。また、今の筑紫女学園大学にどんな学部があったらいいと思いませんか。率直なご意見を寄せてください。ご回答は、同封の返信ハガキ(FAX可)またはメールにてお送りください。 FAX(092)929-4603 E-mail: shiyuukai@chikushi-u.ac.jp 筑紫女学園大学 同窓会「紫友会」



学園ホームページ <http://www.chikushi.ac.jp>

進路支援班

旧来の進路支援課と実習支援課を統合し、「進路支援班(進路支援センター・実習支援センター・ボランティア活動支援センター)」と致しました。これは、求人ベースとした就職活動支援(保育系・福祉系含む)と専門職希望学生の各種実習支援・国家試験対策・教員採用試験対策を、統合的に支援することを狙いとしたものです。

実習支援センター

●教員免許状更新講習のご案内

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員を対象とした講習を実施しています。詳細は、5月頃本学ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

ボランティア活動支援センター

●ボランティアの活動状況

2018年6月から「ボランティア活動支援センター」を窓口とし、関係部署と連携しながらボランティア活動の支援を行っています。地域の施設、企業、学校からのボランティア情報をボランティアメールとして配信し、参加希望者を受付、ボランティア派遣を行っています。今後も国内災害復興支援プロジェクト、ネパール教育支援プロジェクトについても、引き続き活動支援を行ってまいります。



2018年度のボランティアの実績としては延べ529名参加しました。うち国内災害ボランティア参加54名(東日本2回活動・22名、九州北部豪雨2回活動・参加18名、西日本豪雨2回活動・参加14名)、ネパール被災地訪問2回・22名となっています。今後も引き続きボランティア活動を行ってまいりますので、同窓生からの温かなご支援(寄付など)を何卒よろしくお願い申し上げます。なお、ボランティア活動につきましては、本学ホームページに随時掲載し活動の報告をしていますので、どうぞご覧ください。

【お問い合わせ】ボランティア活動支援センター TEL092(925)9578

※ご支援(寄付など)いただける方は上記問合せ先にご一報ください。

紫友会から在学生へ

アヴェニール

「就職情報誌 **avenir**」贈呈

紫友会では、在学生への支援活動の一つとして「就職情報誌 avenir」を発行し、就職活動の始まる3年生を対象に贈呈しています。「avenir」は就職活動中の先輩方からの貴重な実体験報告を最新情報としてまとめたものです。この中には、業種別採用試験の報告書や過去5年間の就職先一覧なども掲載されています。

毎年、就職試験状況も様々な変化するため、「avenir」もその変化に対応しながら、更新し提供しています。

昨年からは電子書籍化もされ、これまで以上に多くの学生にとって活用しやすいものとなりました。



目録贈呈
令和元年9月29日(日)
保護者と学生のための就職ガイダンス

計報 厨 義弘 先生 令和元年6月 (元大学文学部 人間福祉学科教授)



この度は、紫友会の奨励金を頂き誠にありがとうございます。私達ストーリーハウスは、二十八名で活動しています。主に、子育て支援センター等であそびや読み聞かせを中心とした活動を行ったり、学園祭では、子ども向けの遊びの広場を設け、子どもたちとの交流を深めています。私達は今年度より、活動範囲を広げて、より多くの子どもたちとあそび、ふれあいを通して経験を積み重ね自分たちの将来の糧としていけたらと思います。



職域訪問 同窓生へ一言

宗像市役所 コミュニティ協働推進課 大久保 聡子 (日本語日本文学科 二十七回生)

「他人を信じそれ以上に自らを信じる」 月日の流れはあっという間で、今年の四月で社会人三年目となります。入社したばかりの頃は、慣れない土地、思いがけない配属先、未経験の事務の連続で、当初考えていた社会人生活とはかけ離れていました。毎日自身の知識や経験のなさを痛感し、いつのまにか自信を喪失し、「この仕事に向いてないんじゃないか、辞めようか」とまで思い詰めた時期もありました。



社会人になってから、自分の力だけでやれることは本当に少ししかなくて周りがいるからこそやれることがほとんどだと感じることも多くなりました。今は難しく思える課題があっても、お互いを信頼し力を合わせることでできばさつとより良い方向に向かっていくと信じています。

新入生へ校章を寄贈

紫友会では新入生へのお祝として毎年本学の校章を寄贈しています。この校章は、仏教の教えの象徴である法輪(ほうりん)をデザインしたものです。法とは積尊によって説かれた真理を意味し、法輪はその教えを車輪の形で表したもので、現在では世界の仏教徒の間で仏教のシンボルとして広く用いられています。そして、この校章には、本学園の精神が社会の中に広がっていくようにとの願いが込められています。卒業生からは、「校章を付けた学生を見かけると応援したくなる」との声を聞きます。就職活動の際には歴史あるこの校章を胸に付け、社会へはばたく筑女生として頑張ってもらいたいと思います。



2020(令和2)年度 前期 筑紫女学園大学 公開講座 (受講料無料)

“ともいき(共生)”~あらゆる存在とのつながりの中で生かされていることへの目覚め~

講座名・会場	講師等	日時	講座名・会場	講師等	日時
レジリエンスとリフレーミング 於 筑紫女学園大学	酒井 均 (人間科学部教授) 主催: 人間科学部人間科学科心理・社会福祉専攻	5月9日(土) 10:00~12:00	文学と南(9) 「歴史と文学—天守時代」 ①シルクロードと渤海王国—もう一つの遣唐使 ②井上靖「天の塵」を読む ③歴史と文学のはざま 於 福岡市赤煉瓦文化館	コーディネーター: 松下博文 (文学部教授) ①藤井 一二 (金沢星稜大学名誉教授) ②松下 博文 (文学部教授) ③松下 博文 (文学部教授)	① 7月4日(土) ② 7月11日(土) ③ 7月18日(土) 14:00~16:30
第23回仏教文化講座「経典から学ぶ」 ①「維摩経」から学ぶ ②密教経典から学ぶ ③中国仏教文庫から学ぶ ④「教行信証」(信巻)から学ぶ ⑤「親鸞聖人御消息」から学ぶ 於 太宰府市いきいき情報センター	①小林 久泰 (文学部准教授) ②川尻 洋平 (現代社会学部准教授) ③真名子見征 (本学非常勤講師) ④宇治 和貴 (人間科学部准教授) ⑤栗山 俊之 (現代社会学部教授) 主催: 仏教研究室	① 6月3日(水) ② 6月10日(水) ③ 6月17日(水) ④ 7月1日(水) ⑤ 7月8日(水) 19:00~20:30	発達障害を持つ子どもの 保護者への対応 ※専門職対象(幼稚園・保育園・施設等勤務者) 於 筑紫女学園大学	酒井 均 (人間科学部教授) 主催: 人間科学部人間科学科心理・社会福祉専攻	8月1日(土) 10:00~12:00

筑紫女学園大学 社会連携センター

筑紫女学園大学ホームページ >>> <https://www.chikushi-u.ac.jp/>
〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2丁目12-1
TEL: (092)925-9685 FAX: (092)925-9683
E-mail: gakushu@chikushi-u.ac.jp

お申込み方法

ハガキ・FAX・Eメールまたは本学ホームページにて
*お申し込みの際は、①受講希望講座名 ②氏名(フリガナ) ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号・FAX番号をご記入ください。
*定員に達した場合は、締切りとなりますのでご了承ください。
*お預かりした個人情報は適切に管理し、公開講座運営以外に使用することはありません。



教務班

【お問い合わせ】 TEL092(925)3514

卒業証明書・成績証明書等の申込みを受け付けています。申込の詳細は本学園ホームページ「卒業生の方」にてご案内しています。

- * 学力に関する証明書など特別な証明書は発行に2週間程度かかります。早めのお問い合わせをお願いします。
- * 夏季休業: 8月8日(土)~16日(日)
- * 年末受付: ~12月25日(金)
- * 年始受付: 1月8日(金)~

本学園ホームページ

筑紫女学園大学

卒業生の方

「証明書について」

図書館

図書館ホームページアドレス <http://www.lib.chikushi-u.ac.jp/>

卒業生の皆様も図書館の本の利用ができます。「図書館利用者証」を発行しますので、身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をご持参ください。

- 開館日・利用時間...【原則】 平日 9:00~19:30
土曜日 9:00~14:00(原則第2・4土曜)
※学校行事や定期試験・休暇中など開館日・開館時間が変更になることがあります。
開館日・利用時間は本学図書館ホームページカレンダーにて確認ください。
- 利用者証発行手数料...400円(4年間有効)
※1号館1階の自動証明書発行機で証紙をお買い求めの上、8号館図書館カウンターで手続きください。
- 貸出冊数・貸出期間...3冊以内(15日間)

紫友会事務局だより

第52回紫友会総会報告

第52回紫友会総会は令和元年6月8日(土)ホテルオークラ福岡に於いて盛大に開催されました。



当日は、G20の影響も心配されましたが、晴天に恵まれ、たくさんの同窓生や同窓教員の皆様にご参集頂きました。

第一部の総会では、平成30年度活動報告と会計報告、2019年度活動計画(案)と予算案の各議(案)が承認されました。また、附属幼稚園新園舎落成御祝としてのアップライトピアノと母校学生が活動する国内・海外ボランティアに対する支援金の贈呈式も執り行いました。

第二部の懇親パーティでは、美味しいコース料理とジャズバンドによる生歌と生演奏をゆくりと堪能することができました。会場内では、ネパールボランティア参加学生によるグッズ販売も盛況でした。最後には、韓国からお越しいただいた旧教員の魯先生による美しい歌声の披露もあり和やかな楽しい一時を過ごしました。

来年もたくさんの同窓生が笑顔で再会出来ることを願いながら、第52回の記念すべき令和元年の紫友会総会は盛会にて終了しました。



生演奏の様子

●総会議決内容●

- ◎第一号議案:平成30年度活動報告
- ◎第二号議案:平成30年度会計報告及び監査報告
- ◎第三号議案:2019年度活動計画
- ◎第四号議案:2019年度予算

平成30年度 紫友会会計報告

自:平成30年4月1日 至:平成31年3月31日
(単位:円)

一般会計

【収入の部】	決算額
前年度繰越金	17,576,601
入会会費 (10,000×551名)	5,510,000
協力費 (304件)	650,000
預金利息	1,345
雑収入	93,000
合 計	23,830,946

【支出の部】	決算額
総会費	1,284,306
印刷製本費	1,157,683
通信費	1,838,739
支払手数料	37,788
会議費	244,468
事務経費	1,847,110
入学記念品費	385,560
備品費	31,306
慶弔費	376,462
消耗品費	30,996
雑費	27,365
奨学金基金へ繰出	500,000
特別会計へ繰出(母校支援)	1,000,000
次年度繰越金	15,069,163
合 計	23,830,946

特別会計

【収入の部】	決算額
前年度繰越金	6,345,321
一般会計より繰入(母校支援)	1,000,000
預金利息	436
合 計	7,345,757

【支出の部】	決算額
在学生就職活動支援	999,162
在学生支援(ボランティア活動へ)	300,054
次年度繰越金	6,046,541
合 計	7,345,757

奨学金・奨励金基金会計

【収入の部】	決算額
前年度繰越金	13,396,154
一般会計より繰入	500,000
奨学金・奨励金基金(123件)	321,000
預金利息	787
合 計	14,217,941

【支出の部】	決算額
紫友会奨学金・奨励金給付	1,151,890
次年度繰越金	13,066,051
合 計	14,217,941

同窓会をしませんか

総会に併せて、クラス会やサークルのOG会、ゼミ同期会などを開きませんか?紙面を利用しての呼びかけや、案内状発送のお手伝いなど致します。ご活用頂き、会員相互の親睦が深まることを期待しています。ご希望がありましたら、ぜひ事務局までご相談ください。

当番幹事について

2021年、第54回紫友会総会の当番幹事は下記の方々です。

○2000年卒 短大34回生

大学 9回生

○2020年卒 大学文学部29回生

〃 人間科学部6回生

〃 現代社会学部2回生

大学院 12回生

○2021年卒 新卒幹事

事務局よりご案内のハガキを送付致しますので幹事会にご出席頂きますようお願い致します。

【筑紫女学園報】送付について

学園全体(幼稚園～大学)の様子をお伝えしている学園発行の学園報を希望される方にお配りします。角2封筒(33×24cm位)に送付先の郵便番号・住所・お名前をご記入の上、140円切手を貼り紫友会事務局までご送付ください。最新号をお送り致します。

又は学園ホームページでもご覧頂けます。

<http://www.chikushi.ac.jp/gakuenhou/>

役員紹介(令和元年度)

- | | | |
|-------|--------|--------------|
| 会 長 | 石川 昭子 | 短・家政2 |
| 副 会 長 | 伊佐 元子 | 短・家政1 |
| 〃 | 平山 由美 | 短・家政25 |
| 会 計 | 仲野 抄子 | 短・国文2・文・日文21 |
| 〃 | 河津 安代 | 短・英文30 |
| 書 記 | 酒井 由美子 | 文・心理 15 |
| 常任幹事 | 加藤 千代 | 短・家政2 |
| 〃 | 森山 クミ子 | 短・家政2 |
| 〃 | 阿部 美樹 | 短・家政30 |
| 〃 | 清川 久美子 | 短・家政5 |
| 〃 | 矢幡 聡子 | 短・家政24 |
| 〃 | 安田 香織 | 短・家政20 |
| 会計監査 | 藤尾 知子 | 短・家政13 |
| 〃 | 鈴木 萌子 | 文・メディア24 |

あとがき
今号のテーマ「今につながるもの。そしてこれから」はいかがでしたか。昨年度は、平成から令和になりいろいろな思いでお読みいただいたのではないのでしょうか。
今年度はオリエンティックの年、各地で様々なイベントも開催されいろいろ計画を立ててある方もおられるかと存じます。
今年度は、母校で総会を開催いたします。キャンパスに足を運びいただき、恩師・ご学友との懐かしいひと時をお過ごしただけは幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

紫友39号“こんにちは”の原稿を募集します。

次号のテーマは「思わぬ出会い」を予定しています。原稿は400字程度。

また、皆様の近況や思い出等お寄せください。(写真やイラストも可)寄せられた原稿は原則として、返却しません。

紙面都合上、全てを掲載できない場合もありますので、ご了承ください。(メ切令和2年12月末日)

お 願 い

卒業時の住所データ及び返信葉書に書かれた住所が会報誌「紫友」発送の資料となります。個人情報と同窓会活動以外では使用致しません。『紫友』が届かない方には、事務局までお知らせ頂きますようお願い致します。なお、名簿の管理には充分慎重を期しております。紫友会事務局以外から同窓生へ連絡することはありません。